

9	課題番号 17100009	研究課題名 情報バリアフリー技術による産業化モデル と障害者社会参加のための実践的研究	研究代表者 伊福部 達 (東京大学・先端 科学技術研究センター・教授)	評価結果 A
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、障害者のコミュニケーションにおけるバリアフリー化の技術的レベルアップに寄与することを目的としている。</p> <p>「音声同時字幕システム」、「触覚ジョグダイヤル」について具体的な検討を進め、より広い分野への波及効果を図っていることは評価できる。現時点において、順調に所期の成果を上げつつある。</p> <p>しかし、本研究課題が「産業化モデルと障害者社会参加のため」とあるので、この技術によって障害者の生活がどのように変化する、雇用が促進化するかを、客観的データで明らかにすることを期待する。併せて、福祉機器研究開発において重要と考えられる「公益性」と「市場性」の関係等の検討を望みたい。</p>				
10	課題番号 17101001	研究課題名 希ガスをトレーサーとした太平洋における 海洋循環の解明	研究代表者 佐野 有司 (東京大学・海 洋研究所・教授)	評価結果 A
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、海洋物理学と海洋化学の専門家の連携により、太平洋における深層熱塩循環を、希ガス濃度・同位体分布、流動構造の観測と海洋大循環モデルから、総合的に検討しようとする野心的な研究である。</p> <p>研究申請時の計画で記載された内容を、中間報告でも、ほぼ達成していると判断する。さらに、研究遂行に必須となる質量分析計を導入し、世界最高レベルの測定精度を達成している点や、海洋化学分野を中心とした研究成果を国際的に評価の高い雑誌に公表している点も、高く評価できる。</p> <p>今後、本研究が海洋化学分野と海洋物理分野の好連携の先例となるべく、着実な進展に期待したい。</p>				